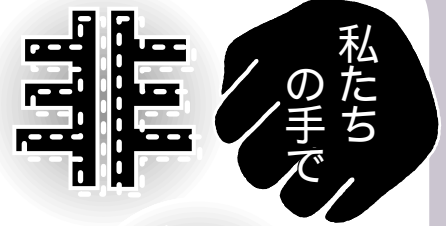
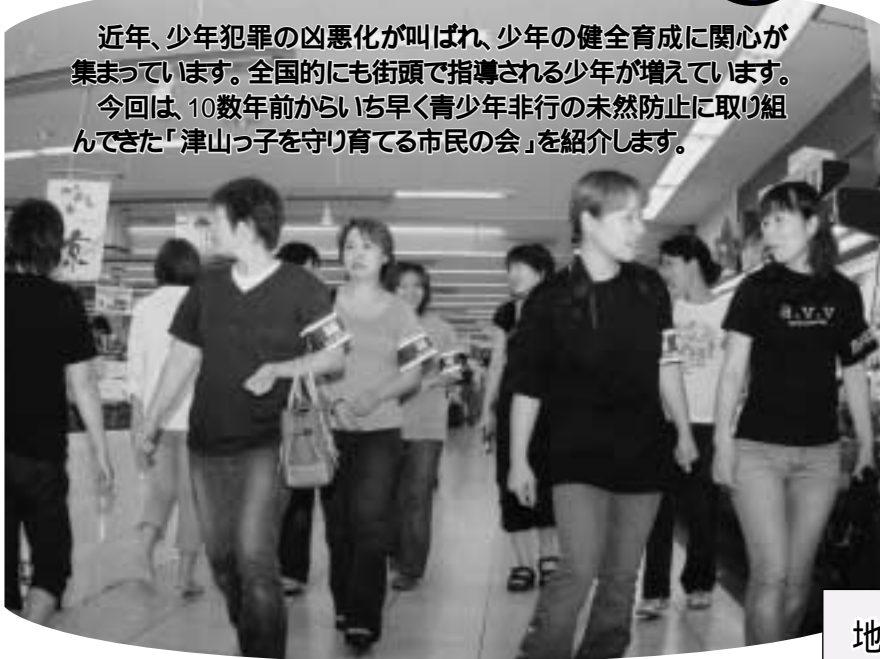


近年、少年犯罪の凶悪化が叫ばれ、少年の健全育成に関心が集まっています。全国的にも街頭で指導される少年が増えています。今回は、10数年前からいち早く青少年非行の未然防止に取り組んできた「津山っ子を守り育てる市民の会」を紹介します。



根を絶て!!  
非行の

地域を見守る街頭指導に携わって



津山っ子を守り育てる市民の会  
津山東ブロック  
あきら  
竹中 玲 さん  
(高野山西)

夏休みは子どもを開放的な気分させます。親と離れて夜間出歩くこともあり、そのような子どもたちを指導しています。

10年前に比べ、町はにぎやかになりました。夜遅くまで営業する店が身近になり、子どもたちを引き付ける材料が増えています。午後5時以降にゲームセンターに行ったり、花火で遊んだり、学校や家庭での“約束ごと”を守らない子どもたちに出会います。

私たちのように保護者自身が街頭指導に出かけることは、他の保護者に対して青少年健全育成のPRにつながっています。この腕章を見た大人が「あ、近所の人が見回っている。子どもたちによく言い聞かせよう」と腕章が抑止力になることもねらいです。

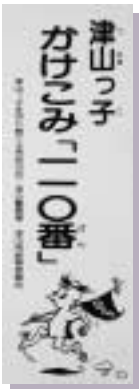
指導を始めてからは、以前と違った視点で買い物をするようになりました。知っている子どもたちには積極的に声をかけています。今後、この取り組みがすそ野を広げていくことを期待します。

地域の大人たちが目を光らせて

夏のある夕方、買い物客でにぎわうスーパーマーケットに腕章を着けた10数人の大人が集合しました。その後、3、4人が1組になり、あちこちに目を配りながら店内を巡回。  
これは、小・中学校のPTAや教員が「夏の街頭指導」を行っている光景です。夏休みで子どもたちの気持ちは浮つくこの季節、夜間出歩く小中学生を指導するために大人たちが目を光らせています。  
この街頭指導は「津山っ子を守り育てる市民の会」の活動で、地域や学校が連携して行っています。

少年非行を防ぐ 津山っ子を守り育てる市民の会

この会は、子どもたちが心豊かで健やかに成長することを願って、平成2年に発足。青少年の健全育成を地域で支援しようと取り組む民間の組織です。PTAや町内会なども協力し、中学校の学区単位で5ブロックに分かれて活動しています。  
**活動内容**  
かけこみ「110番」の設置  
子どもが危険を感じたときに緊急避難し、助けを求めらえる民家・事業所に設置



この看板が目印

環境地図の作成 子どもにも有害・危険な場所、また歴史遺産や自然体験のできる場所などを記した地図を作成

その他、研修や標語募集など地域の活動を支援・強化するために取り組んでいます。  
このように、地域の活動が市全体で1つになって取り組まれるケースは珍しく、先進的といわれています。その成果もあってか、犯罪や不良行為が補導される少年の割合は県下10市の中で3番目に低くなっています。

津山っ子を守り育てる市民の会についてのお問い合わせは、市青少年育成センター 422120へください。